

第Ⅴ編 公 園

第 1 章 公園植栽工·····	V-1-①-1
------------------	---------

第1章 公園植栽工

① 公園植栽工	V-1-①- 1
1 適用範囲	V-1-①- 1
2 施工概要	V-1-①- 1
3 施工歩掛	V-1-①- 2
4 単価表	V-1-①- 7
5 植栽工事の割増積算	V-1-①- 9
6 参考資料	V-1-①-10
② 公園除草工	V-1-②- 1
1 適用範囲	V-1-②- 1
2 施工概要	V-1-②- 1
3 工法の選定	V-1-②- 2
4 人力除草	V-1-②- 3
5 機械除草	V-1-②- 4
6 集草，積込・運搬	V-1-②- 4
7 総合歩掛	V-1-②- 5
8 単価表	V-1-②- 6
③ 公園工	V-1-③- 1
1 適用範囲	V-1-③- 1
2 施工歩掛	V-1-③- 1
3 単価表	V-1-③- 7

第1章 公園植栽工

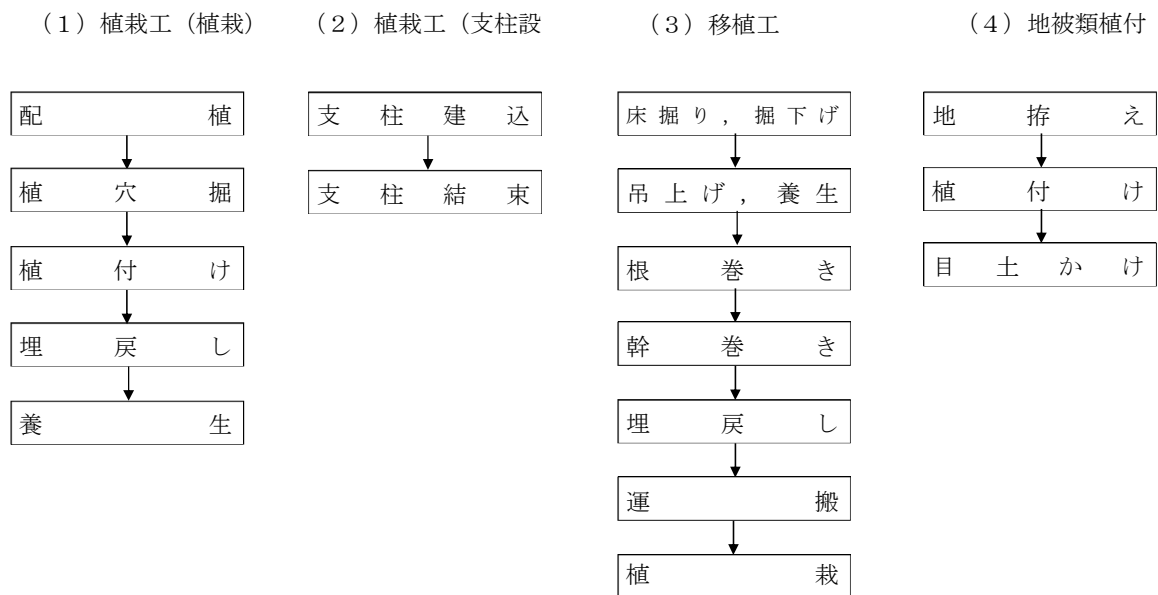
① 公園植栽工

1. 適用範囲

本資料は、公園の植栽作業及び移植作業に適用する。なお、高木とは、樹高3m以上、中低木とは、樹高3m未満とする。

2. 施工概要

施工フローは、下記を標準とする



（注）本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

図2-1 施工フロー

3. 施 工 歩 掛

3-1 植栽工

(1) 植栽

植栽は、配植、植穴掘、植付け、埋戻し、養生までの作業を行うもので、施工歩掛は、次表を標準とする。
なお、中低木は別途考慮する。

表3.1 植栽歩掛

(100本当たり)

形 状 寸 法 (cm)		名 称 (人)			機 械 運 転 時 間 (h)	運 転 日 数 (日)	
		土 木 一 般 世 話 役	造 園 工	普 通 作 業 員	トラック [クレーン装置付] ベストトラック 4~4.5t積 吊能力2.9t	小型バックホウ(クローラ型) 標準型・ 排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積0.13m ³ (平積0.1m ³)	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型 (第1次基準値) 4.9t吊
高 木	(幹周) 15未満	3.2	16.1	9.6	—	—	—
	15以上 25未満	5.4	27.4	9.7 (16.3)		1.9 (—)	
	25以上 40未満	5.0	23.0	14.0 (55.0)	47.0	2.1 (—)	
	40以上 60未満	10.0	44.0	26.0 (87.0)	57.0	4.8 (—)	
	60以上 90未満	16.0	74.0	45.0 (190.0)	—	10.5 (—)	9.0

- (注) 1. 高木の幹周15cm以上は、機械施工を標準とする。ただし、現場の障害物等により、機械施工が出来ない場合は、() 内の数値を採用する。
2. 幹周は、地際より高さ1.2mの周囲長とする。なお、幹が枝分かれ(株立樹木)している場合の幹周は、各々の総和の70%とする。
3. 残土を植栽付近に敷均しする歩掛、また、残土として運搬車へ積込む歩掛は、上表に含む。
それ以外の残土処分が必要な場合は、別途計上する。また、運搬歩掛は含まない。
4. 支柱設置歩掛は含まない。
5. 標準的植穴掘以外の施工は、別途考慮する。
6. 現場条件により、上表により難しい場合は、別途考慮する。
7. ラフテレーンクレーン、小型バックホウは、賃料とする。
8. 上表は根鉢付樹木の標準歩掛であるため、ふりい根の場合は、別途考慮する。
9. 本歩掛の埋戻作業には、肥料、土壌改良剤を混合する場合も含まれる。
10. 上表には、100m程度の現場内小運搬を含む。

(2) 支柱設置

支柱設置は、建込み、結束からなり、支柱形式別、支柱材料及び歩掛は、次表を標準とする。

表3.2 支柱材料及び設置歩掛

名 称	形 状 寸 法	単位	植樹100本当り							
			二脚鳥居 支柱 (添木付)	二脚鳥居 支柱 (添木なし)	三脚鳥居 支柱	十字鳥居 支柱	二脚鳥居 組合せ	ハッ掛 (三脚) (竹)	ハッ掛 (丸太) L=4m	ハッ掛 (丸太) L=6~7m
適 用 範 囲	高木 (幹周)	cm	30未満	20以上 30未満	30以上 60未満	30以上 60未満	40以上 75未満	20未満	20以上 35未満	30以上 75未満
土 木 一 般 世 話 役		人	1.8	1.3	1.8	2.7	3.6	1.3	2.0	3.1
造 園 工		〃	10.2	7.7	10.2	15.3	20.4	7.4	11.1	17.6
普通作業員		〃	5.9	4.4	5.9	8.9	11.8	4.3	6.4	10.2
杉 丸 太	長0.6m×末口6cm	本	100	100					300	300
〃	〃 0.6 × 〃 7.5	〃			100					
〃	〃 0.75 × 〃 7.5	〃				200	400			
〃	〃 1.8 × 〃 6	〃	200	200						
〃	〃 1.8 × 〃 7.5	〃			300	200				
〃	〃 2.1 × 〃 7.5	〃				200	400			
〃	〃 4.0 × 〃 6	〃							300	
〃	〃 6.3 × 中径6	〃								300
杉 梢 丸 太	〃 4.0 × 末口3	〃	100							
竹	末口2.5cm	〃						(注)3		
諸 雑 費 率		%	4	4	3	3	2	6	4	3

(注) 1. 諸雑費は、ハンマ、ペンチ、きり、かけや、緑化テープ、しゅろ縄、洋釘、鉄線等の費用であり、労務費、材料費の合計額に上表の率を乗じた額を上限として計上する。

2. 適用範囲外の支柱を用いる場合、又は、現場条件により、上表により難しい場合は、別途考慮する。

3. 竹は、必要量を計上する。

4. 上表には、100m程度の現場内小運搬を含む。

3-2 移植工

移植工は、掘取、運搬、植栽からなる。

(1) 掘取

掘取は、人力又はバックホウによる床掘り、掘下げ、クレーンによる吊上げ及び養生、根巻き、埋戻しであり施工歩掛は、次表を標準とする。

表3.3 掘取歩掛

(100本当り)

形状寸法 (cm)		名 称 (人)			機械運転時間 (h)	運 転 日 数 (日)		諸雑費率 (%)
		土 一 世	木 般 造 園 工 作 業 員	普 通 員		小型バックホウ (クローラ型) 標準型・ 排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積0.13m ³ (平積0.1m ³)	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型 (第1次基準値) 4.9t吊	
中 低 木	(樹高) 50未満	0.3 (0.2)	2.0 (1.6)	1.6 (1.6)	—	—	—	4
	50以上 100未満	0.4 (0.3)	2.9 (2.4)	2.3 (2.3)				4
	100以上 200未満	0.7 (0.6)	5.4 (4.5)	4.5 (4.5)				5
	200以上 300未満	1.7 (1.4)	13.0 (10.0)	11.4 (11.4)				3
高 木	(幹周) 15未満	2.0 (1.7)	10.3 (8.5)	6.1 (6.1)	—	—	—	5
	15以上 25未満	4.4 (3.6)	22.1 (18.3)	13.2 (13.2)				5
	25以上 40未満	7.0 (6.0)	36.0 (31.0)	13.0 (13.0)	9.0 (9.0)	6.4 (6.4)		7
	40以上 60未満	10.0 (9.0)	55.0 (49.0)	21.0 (21.0)	13.0 (13.0)	9.1 (9.1)		7
	60以上 90未満	17.0 (14.0)	88.0 (78.0)	34.0 (34.0)	—	14.8 (14.8)	3.0 (3.0)	9

- (注) 1. 上表の()内の数値は、根巻きを行わない場合の歩掛である。
2. あらかじめ根切りを行い埋戻ししておき、後日移植する場合は、別途計上する。
3. 幹周は、地際より1.2mの幹の周囲長とする。なお、幹が枝分かれ(株立樹木)している場合の幹周は、各々の総和の70%とする。
4. 高木の幹周25cm以上は、機械施工を標準とする。
5. 高木の幹周25cm以上は、積込み、卸し時間を含む。
6. 掘取後の残土は埋戻しとして含むが、不足土量に係る費用が必要な場合は別途計上する。
7. 現場条件により、上表により難しい場合は、別途考慮する。
8. ラフテレーンクレーン、小型バックホウは、賃料とする。
9. 上表は、根鉢付樹木の標準歩掛であるため、ふるい根の場合は、別途考慮する。
10. 諸雑費は、根巻きを行う場合のわらなわ・緑化テープの費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。根巻きを行わない場合は計上しない。
11. 上表には、100m程度の現場内小運搬を含む。

(2) 幹巻き

幹巻きが必要な場合は、次表を標準とする。

表3.4 幹巻き歩掛

(100本当たり)

形状寸法幹周 (cm)	土木一般世話役 (人)	造園工 (人)	普通作業員 (人)	諸雑费率 (%)
25以上 40未満	1.1	4.9	1.9	15
40以上 60未満	2.0	8.7	3.4	16
60以上 90未満	3.2	14.2	5.5	20

- (注) 1. 幹周は、地際より1.2mの幹の周囲長とする。なお、幹が枝分かれ(株立樹木)している場合の幹周は、各々の総和の70%とする。
2. 現場条件により、上表により難しい場合は、別途考慮する。
3. 諸雑費は、しゅろ縄・緑化テープの費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。
4. 上表には、100m程度の現場内小運搬を含む。

(3) 運搬

樹木運搬歩掛は、次表を標準とする。

表3.5 運搬歩掛

(100本当り)

形状寸法 (cm)		運搬機械	積載量 (本)	運搬距離5kmまでの 運転時間 (h)	5kmを超え5km増す毎に 加算する運転時間 (h)
中 低 木	(樹高) 50未満	トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4～4.5t積 吊能力2.9t	110	6.6	0.5
	50以上 100未満		50	9.4	1.0
	100以上 200未満		45	11.7	1.1
	200以上 300未満		45	15.0	1.1
高 木	(幹周) 15未満		20	21.3	2.4
	15以上 25未満		13.3	29.4	3.8
	25以上 40未満		7.7	8.7	8.7
	40以上 60未満		2.5	20.5	20.5
	60以上 90未満		1.0	49.0	49.0

- (注) 1. 運搬距離が5kmを超える場合は、超えた距離5kmまで毎に、右の欄の値を左の欄の値へ加算する。
2. 中低木・高木の幹周25cm未満については、積込み・取卸し時間を含み、幹周25cm以上は、積込み・卸し時間を含まない。

(4) 植栽工

施工歩掛は、3-1 植栽工 表3.1 植栽歩掛を適用する。

3-3 地被類植付工

(1) 張芝工

張芝は、地拵え、植付け、目土かけからなり、施工歩掛は、次表を標準とする。

表3.6 張芝工歩掛

(100m²当り)

名 称		単位	数量
土 木 一 般 世 話 役		人	0.2
造 園 工		〃	1.1
普 通 作 業 員		〃	2.3
目 土 使 用 量		m ³	2.7
芝	ベ タ 張	m ²	100
	目 地 張	〃	必要量を計上
諸 雑 費 率		%	4

- (注) 1. 上表は、ベタ張、目地張に適用し、市松張、すじ張の場合は、適用外とする。
2. 諸雑費は、芝串を必要とする場合に計上し、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。芝串を必要としない場合は計上しない。
3. 現場条件により、上表により難しい場合は、別途考慮する。
4. 上表には、100m程度の現場内小運搬を含む。

4. 単 価 表

(1) 高木植栽100本当り単価表

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
土 木 一 般 世 話 役		人		表3.1
造 園 工		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
樹 木	幹周 ○○cm	本	100	樹種名を記入
改 良 剤		kg		必要量を計上
支 柱		本		単価表 (2)
ト ラ ッ ク 運 転	クレーン装置付 ベーストラック4～4.5t積 吊能力2.9t	h		表3.1 高木幹周25cm以上 60cm未満に計上 機械損料
ラ フ テ レ ー シ ク レ ー シ	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 4.9t吊	日		表3.1 高木幹周60cm以上に計上 機械賃料
小 型 バ ッ ク ホ ウ (クローラ型)運 転	標準型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.13m ³ (平積0.1m ³)	〃		表3.1 高木幹周15cm以上に計上 機械賃料
諸 雑 費		式	1	
計				

(2) 支柱設置植樹100本当り単価表

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
土 木 一 般 世 話 役		人		表3.2
造 園 工		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
杉 丸 太	○○m, ○○cm	本		〃
〃	○○m, ○○cm	〃		〃
杉 梢 丸 太	○○m, ○○cm	〃		〃
〃	○○m, ○○cm	〃		〃
竹	○○cm	〃		〃
〃	○○cm	〃		〃
諸 雑 費		式	1	〃
計				

(3) 掘取100本当り単価表

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
土 木 一 般 世 話 役		人		表3.3
造 園 工		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
ト ラ ッ ク 運 転	クレーン装置付 ベーストラック4～4.5t積 吊能力2.9t	h		表3.3 高木幹周25cm以上 60cm未満に計上 機械損料
ラ フ テ レ ー ン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 4.9t吊	日		表3.3 高木幹周60cm以上に計上 機械賃料
幹 巻		本	100	単価表(4)
小 型 バ ッ ク ホ ウ (クローラ型)運 転	標準型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.13m ³ (平積0.1m ³)	日		表3.3 高木幹周25cm以上に計上 機械賃料
諸 雑 費		式	1	表3.3
計				

(4) 幹巻き100本当り単価表

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
土 木 一 般 世 話 役		人		表3.4
造 園 工		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
諸 雑 費		式	1	〃
計				

(5) 運搬工(中低木・高木)100本当り単価表

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
ト ラ ッ ク 運 転	クレーン装置付 ベーストラック4～4.5t積 吊能力2.9t	h		表3.5 機械損料
諸 雑 費		式	1	
計				

(6) 張芝工100m²当り植付け単価表

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
土 木 一 般 世 話 役		人		表3.6
造 園 工		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
芝		m ²		芝名を記入
目 土		m ³	2.7	目地張の場合の数量は必要量とする
諸 雑 費		式	1	表3.6, (注)
計				

(注) 芝串を必要とする場合のみ、労務費の合計額に表3.6の率を乗じた金額を上限として計上する。

(7) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項
小 型 バ ッ ク ホ ウ (グ ロ ー ラ 型)	標準型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.13m ³ (平積0.1m ³)	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 20 機械賃料数量→ 1.63
ト ラ ッ ク	クレーン装置付 ベーストラック4～4.5t積・ 吊能力2.9t	機-1	

5. 植栽工事の割増積算

新植樹木等の植樹割増しとして、下記の費用を加算する。ただし、移植及び根廻し工事に係わるものは除く。

割増経費＝「材料費＋労務費＋機械経費」×0.5%

6. 参 考 資 料

6-1 鉢容量及び植穴容量

表7. 1(a) 鉢容量及び植穴容量

形状	幹 周 (cm)	鉢 径 (cm)	鉢の深さ (cm)	植 穴 径 (cm)	植穴深さ (cm)	鉢 容 量 (m ³)	植穴容量 (m ³)
高 木	10未満	33	25	69	37	0.017	0.09
	10以上 15未満	38	28	75	40	0.028	0.14
	15以上 20未満	47	33	87	46	0.061	0.27
	20以上 25未満	57	39	99	53	0.11	0.44
	25以上 30未満	66	45	111	59	0.17	0.65
	30以上 35未満	71	48	117	62	0.21	0.76
	35以上 45未満	90	59	141	75	0.4	1.34
	45以上 60未満	113	74	171	90	0.74	2.28
	60以上 75未満	141	91	207	109	1.32	3.7
	75以上 90未満	170	108	243	128	2.08	5.45

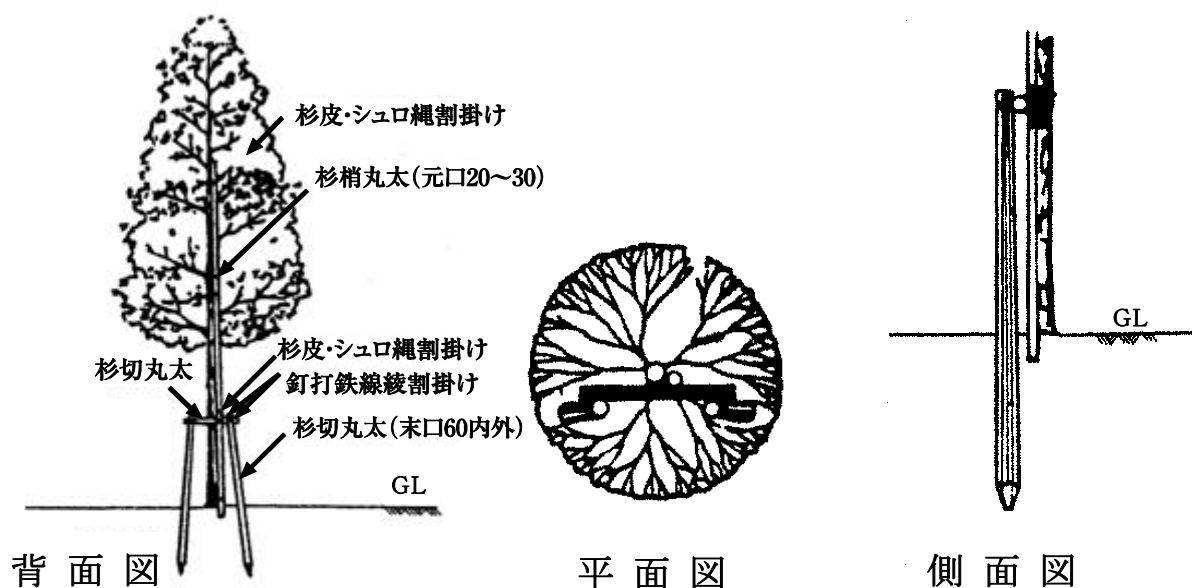
表7. 2(b) 鉢容量及び植穴容量

形状	樹 高 (cm)	鉢 径 (cm)	鉢の深さ (cm)	植 穴 径 (cm)	植穴深さ (cm)	鉢 容 量 (m ³)	植穴容量 (m ³)
中 低 木	30未満	15	8	29	23	0.001	0.015
	30以上 50未満	17	10	33	26	0.002	0.022
	50以上 80未満	20	12	37	28	0.004	0.030
	80以上 100未満	22	13	41	31	0.005	0.040
	100以上 150未満	26	16	46	35	0.008	0.057
	150以上 200未満	30	19	54	40	0.013	0.090
	200以上 250未満	35	23	61	46	0.022	0.133
	250以上 300未満	40	26	69	51	0.032	0.188

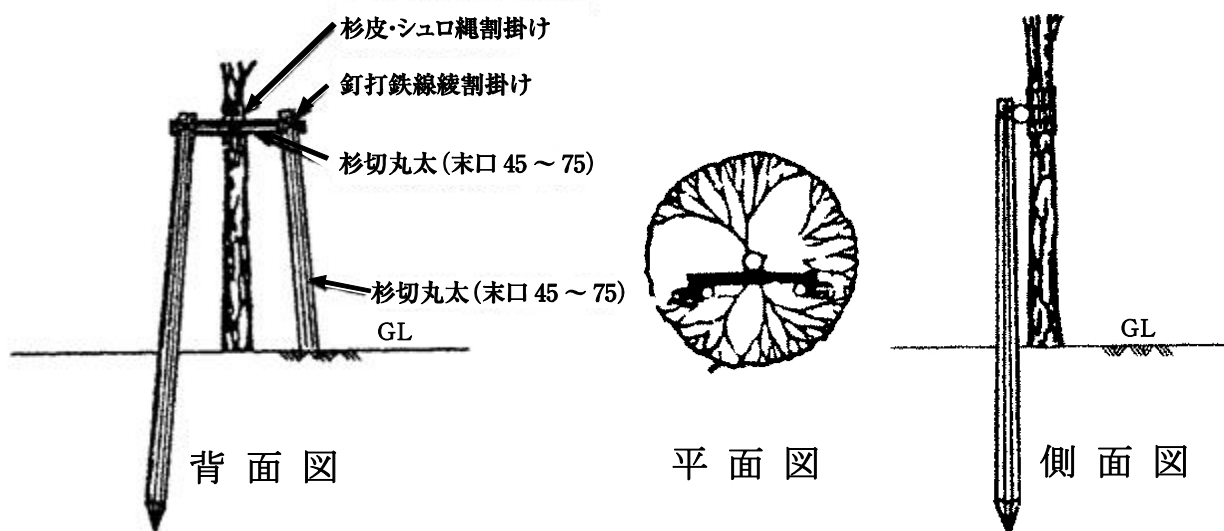
(注) 鉢容量＝埋戻不足土量

6-2 支柱形式参考図

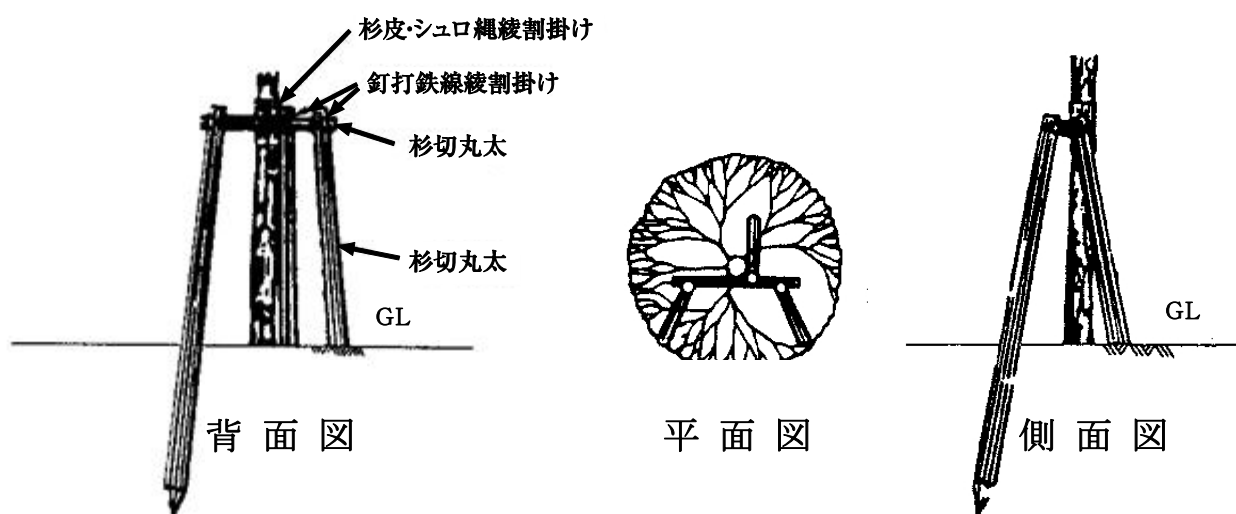
① 二脚鳥居支柱（添木付）



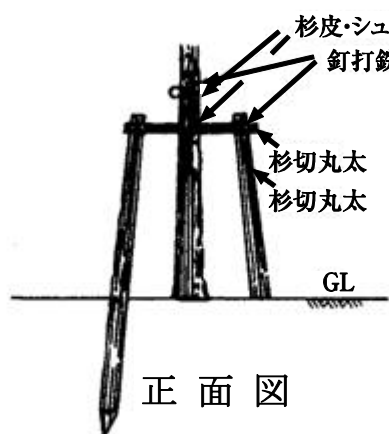
② 二脚鳥居支柱（添木なし）



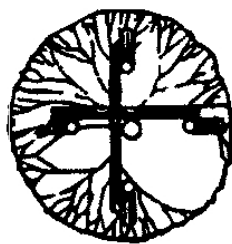
③ 三脚鳥居支柱



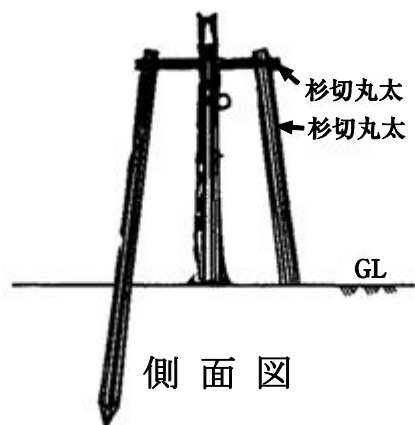
④ 十字鳥居支柱



正面図

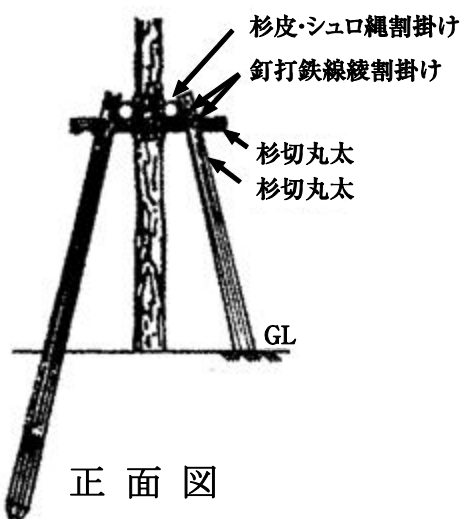


平面図

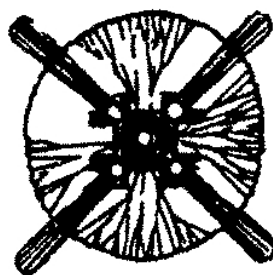


側面図

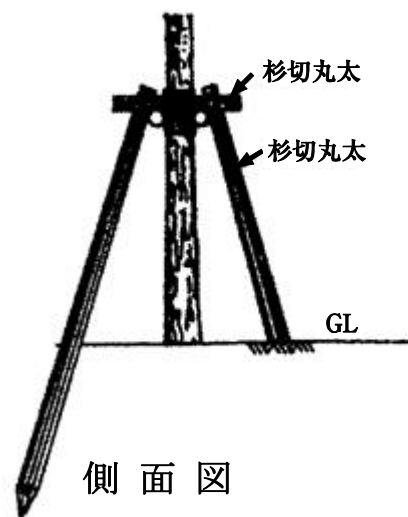
⑤ 二脚鳥居組合せ
四脚支柱



正面図

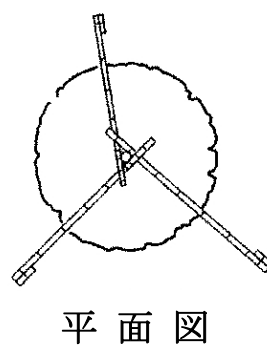
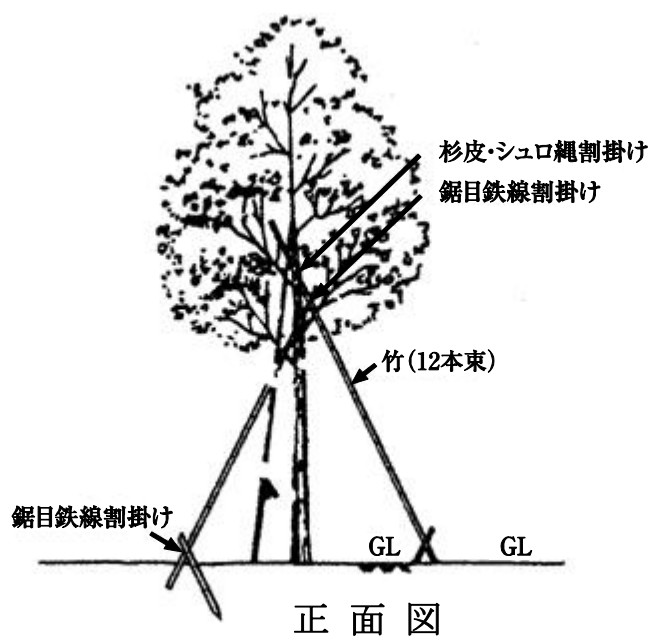


平面図



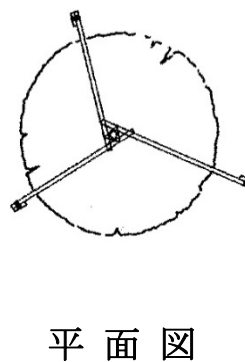
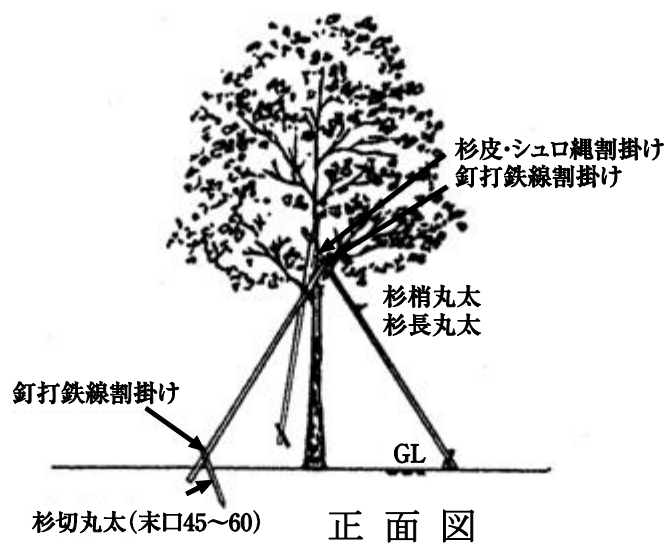
側面図

⑥ ハッ掛（三脚）（竹）竹三本支柱



⑦ ハッ掛（三脚）（丸太） $L = 4\text{ m}$

⑧ ハッ掛（三脚）（丸太） $L = 6\text{ m} \sim 7\text{ m}$
丸太三本支柱



② 公園除草工

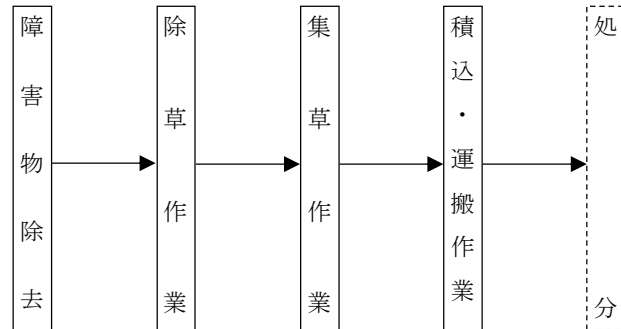
1. 適用範囲

本資料は、公園の除草及び集草、積込・運搬に適用する。

ただし、景観を重視し、かつ除草回数が1回／月を超える場合については適用除外とする。

2. 施工概要

施工フローは、下記を標準とする。



- (注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。
2. 障害物とは石やゴミ等である。

図2-1 施工フロー

3. 工法の選定

除草工法の選定は、図3-1による。

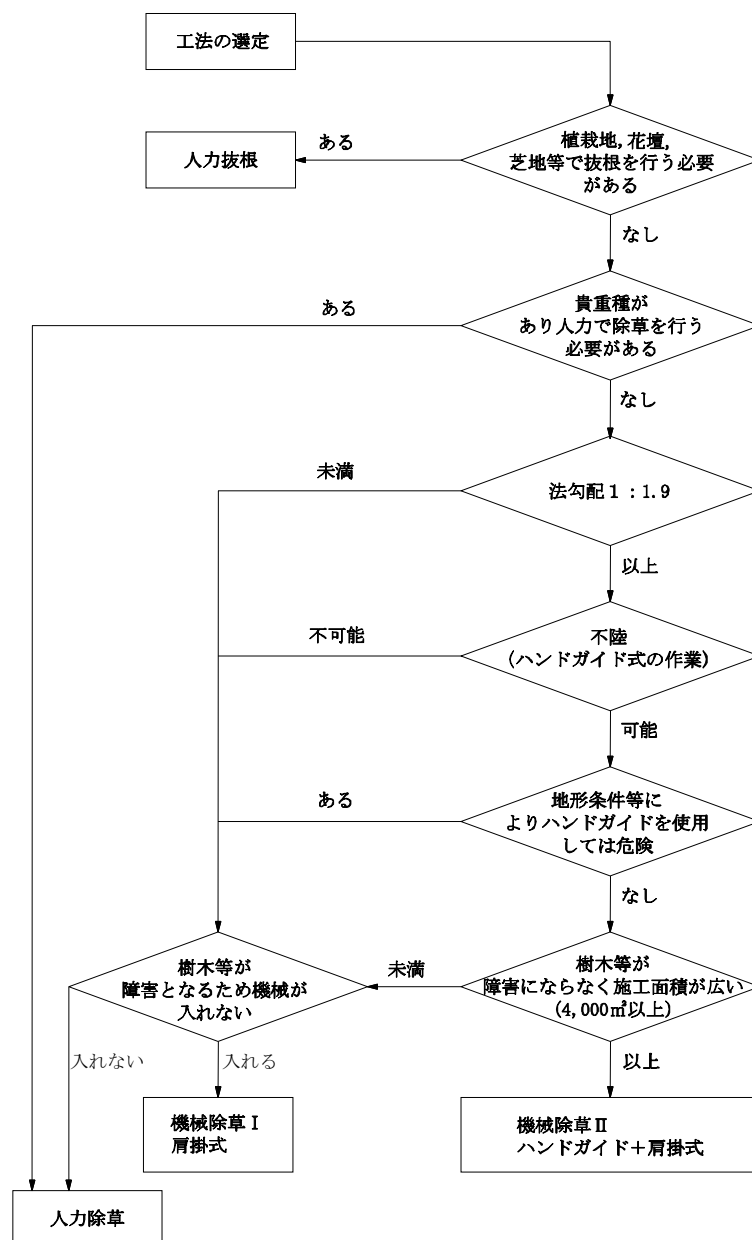


図3-1 工法の選定フロー

4. 人 力 除 草

4－1 人力除草 施工歩掛

人力除草の 1,000 m²当りの歩掛は、次表を標準とする。

表4. 1 人力除草歩掛

(1,000m²当り)

名 称	単位	数量
土 木 一 般 世 話 役	人	0.97
普 通 作 業 員	〃	6.8
諸 雑 費 率	%	2

- (注) 1. 障害物の除去は、上記歩掛に含む。
2. 諸雑費は、鎌等の費用であり労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

4－2 人力抜根 施工歩掛

人力抜根の 1,000 m²当りの歩掛は、次表を標準とする。

表4. 2 人力抜根歩掛

(1,000m²当り)

名 称	単位	数量
土 木 一 般 世 話 役	人	1.8
普 通 作 業 員	〃	12.9
諸 雑 費 率	%	1

- (注) 1. 障害物の除去は、上記歩掛に含む。
2. 人力抜根にともなう人力除草は、上記歩掛に含む。
3. 諸雑費は、鎌等の費用であり労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

5. 機 械 除 草

5-1 施工歩掛（機械除草Ⅰ 肩掛式を用いて除草を行う場合）

1,000 m²当りの歩掛は、次表を標準とする。

表5.1 機械除草Ⅰ（肩掛式）歩掛 (1,000m²当り)

名 称	規 格	単位	数量
土 木 一 般 世 話 役		人	0.18
特 殊 作 業 員		〃	0.90
普 通 作 業 員		〃	0.18
軽 作 業 員		〃	0.07
草 刈 機 損 料	肩掛式 カッタ径 φ255 mm	日	0.90
諸 雑 費 率		%	20

- (注) 1. 上表には、補助刈り（機械除草にかかわる人力による除草）を含む。
2. 障害物の除去は、上記歩掛に含む。
3. 諸雑費は、ガソリン、切刃、鎌等の費用であり、労務費、機械損料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

5-2 施工歩掛（機械除草Ⅱ ハンドガイド式及び肩掛式を用いて作業を行う場合）

1,000 m²当りの歩掛は、次表を標準とする。

表5.2 機械除草Ⅱ（ハンドガイド式＋肩掛式）歩掛 (1,000m²当り)

名 称	規 格	単位	数量
土 木 一 般 世 話 役		人	0.09
特 殊 作 業 員		〃	0.36
普 通 作 業 員		〃	0.09
軽 作 業 員		〃	0.07
草 刈 機 損 料	肩掛式 カッタ径 φ255 mm	日	0.18
草 刈 機 損 料	ハンドガイド式・笹／ヨシ等用 刈幅 95 cm	〃	0.18
諸 雑 費 率		%	6

- (注) 1. 上表には、補助刈り（機械除草にかかわる人力による除草）を含む。
2. 障害物の除去は、上記歩掛に含む。
3. 諸雑費は、ガソリン、切刃、鎌等の費用であり、労務費、機械損料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

6. 集 草, 積 込・運 搬

6-1 施工歩掛

1,000 m²当りの歩掛は、次表を標準とする。

表6.1 集草, 積込・運搬歩掛 (1,000m²当り)

名 称	規 格	単位	集草	積 込 ・ 運 搬
土 木 一 般 世 話 役		人	0.20	0.11
普 通 作 業 員		〃	0.60	0.33
ト ラ ッ ク 運 転	普通型 2t 積	h	—	1.6
諸 雑 費 率		%	6	2

- (注) 1. 集草, 積込・運搬は、必要な工種のみ計上する。
2. トラックの運転は、公園内での運搬作業である。
3. 諸雑費は、熊手、竹箒、フォーク、ブルーシート等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。
4. 廃棄、処分等が必要な場合は、別途計上する。

6-2 運搬歩掛

トラックによる公園外への運搬は、次表を標準とする。

表6.2 トラック運搬時間

(1台当り)

運搬機種・規格	トラック普通型 2t 積																
DID 区間：無し																	
運搬距離 (km)	1.8 以下	3.2 以下	4.6 以下	6.0 以下	7.5 以下	9.1 以下	10.7 以下	12.4 以下	14.2 以下	16.1 以下	18.1 以下	20.3 以下	22.7 以下	25.2 以下	28.4 以下	30.0 以下	
運搬時間 (h)	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.2	1.3	1.4	1.5	1.6	

運搬機種・規格	トラック普通型 2t 積																	
DID 区間：有り																		
運搬距離 (km)	1.7 以下	3.0 以下	4.3 以下	5.6 以下	7.0 以下	8.4 以下	9.8 以下	11.2 以下	12.8 以下	14.4 以下	16.0 以下	17.7 以下	19.4 以下	21.4 以下	23.3 以下	25.3 以下	27.6 以下	30.0 以下
運搬時間 (h)	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.2	1.3	1.4	1.5	1.6	1.7	1.8

- (注) 1. 運搬距離には公園内の運搬距離は含まない。
2. 運搬距離、運搬時間は片道である。
3. 自動車専用道路を利用する場合には、別途考慮する。
4. DID(人口集中地区)は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。
5. 運搬距離が、30 kmを超える場合は、別途考慮する。

7. 総 合 歩 掛

7-1 総合歩掛 (除草, 集草, 積込・運搬)

除草から運搬までを一連作業として行う場合の歩掛は、次表とする。

表7.1 総合歩掛(除草, 集草, 積込・運搬)

(1,000 m²当り)

名 称	規 格	単位	人 力 除 草	機械除草Ⅰ	機械除草Ⅱ
土 木 一 般 世 話 役		人	1.3	0.49	0.40
特 殊 作 業 員		〃	—	0.90	0.36
普 通 作 業 員		〃	7.7	1.1	1.0
軽 作 業 員		〃	—	0.07	0.07
草 刈 機 損 料	肩掛式 カッタ径 φ255mm	日	—	0.90	0.18
草 刈 機 損 料	ハンドガイド式・笹／ヨシ等用 刈幅95cm	〃	—	—	0.18
ト ラ ッ ク 運 転	普通型 2t 積	h	1.6	1.6	1.6
諸 雑 費 率		%	3	11	5

- (注) 1. 補助刈は、上表に含む。
2. 障害物の除去は、上記歩掛に含む。
3. トラックの運転は、公園内での運搬作業である。
4. 諸雑費は、ガソリン、切刃、鎌、熊手、竹箒、フォーク、ブルーシート等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。
5. 廃棄、処分等が必要な場合は、別途計上する。

8. 単 価 表

(1) 人力除草, 人力抜根 1,000 m²当り単価表

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
土 木 一 般 世 話 役		人		表 4.1 又は 4.2
普 通 作 業 員		〃		〃
諸 雑 費		式	1	〃
計				

(2) 機械除草Ⅰ 肩掛式 1,000 m²当り単価表

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
土 木 一 般 世 話 役		人		表 5.1
特 殊 作 業 員		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
軽 作 業 員		〃		〃
草 刈 機	肩掛式 カッタ径φ255mm	日		表5.1 機械損料
諸 雑 費		式	1	表 5.1
計				

(3) 機械除草Ⅱ ハンドガイド式及び肩掛式 1,000 m²当り単価表

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
土 木 一 般 世 話 役		人		表 5.2
特 殊 作 業 員		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
軽 作 業 員		〃		〃
草 刈 機	肩掛式 カッタ径 φ255mm	日		表5.2 機械損料
草 刈 機	ハンドガイド式・笹／ヨシ等用 刈幅95cm	〃		表5.2 機械損料
諸 雑 費		式	1	表 5.2
計				

(4) 集草、積込・運搬 1,000 m²当り単価表

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
土 木 一 般 世 話 役		人		表 6.1
普 通 作 業 員		〃		〃
ト ラ ッ ク 運 転	普通型 2t 積	h		表 6.1 機械損料
諸 雑 費		式	1	表 6.1
計				

(5) トラック運搬 1 台当り単価表

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
ト ラ ッ ク 運 転	普通型 2t 積	h		表 6.2 機械損料
諸 雑 費		式	1	
計				

(6) 総合歩掛 1,000 m²当り単価表

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
土 木 一 般 世 話 役		人		表 7.1
特 殊 作 業 員		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
軽 作 業 員		〃		〃
草 刈 機	肩掛式 カッタ径 φ255mm	日		表 7.1 機械損料
草 刈 機	ハンドガイド式・笹／ヨシ等用 刈幅95cm	〃		表 7.1 機械損料
ト ラ ッ ク 運 転	普通型 2t 積	h		表 7.1 機械損料
諸 雑 費		式	1	表 7.1
計				

(7) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
ト ラ ッ ク	普通型 2t 積	機-6	

③ 公 園 工

1. 適 用 範 囲

本資料は、公園緑地の工事に適用する。

2. 施 工 歩 掛

2-1 機械土工

(1) 公園工事用小型機械

1) トラクター（1 t 級）

1時間当り作業量の算定式は、次のとおりとする。

$$V_t = \frac{60 \cdot W \cdot V \cdot E}{N} \quad (\text{m}^2/\text{h})$$

W：平均幅（m）

V：作業速度（m/min）

E：作業効率

N：作業回数

表2. 1 W・V・E・N標準数値

作 業	W (m)	V (m/min)	E		N	摘 要
			砂, 砂質土	レキ質土, 粘性土		
耕 起	1.60	24.3	0.80	0.70	2	
砕 土 ・ 整 地	1.90	28.8			2	オフセットディスクハロー
肥 料 散 布	1.80	41.1	1.00	1.00	1	ブロードキャスター ライムソワー
播 種	1.80	24.3			1	ブロードキャスター

表2. 2 小型機械土工(トラクター)歩掛

(1 m²当り)

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
ト ラ ク タ ー 運 転	1 t 級	h		1 / V t

2-2 石工

(1) コンクリート表面はつり, つつき仕上げ工

コンクリート表面はつり, つつき仕上げ工歩掛は、次表を標準とする。

表2. 3 コンクリート表面はつり, つつき仕上げ工歩掛表

(1 m²当り)

作 業	名 称	単位	数量	備 考
コンクリート表面はつり 仕上げ	石 工	人	0.38	
コンクリートつつき仕上げ	石 工	//	0.25	

(注) 1. はつり仕上げ…一般に、のみ・たがねを用いてコンクリート面を削る作業をいう。

切削深さはおおむね5～10 mmである。

2. つつき仕上げ…主として、トンボ又はこれに類する工具を用いてコンクリート面をつつく作業をいう。切削深さはおおむね3～5 mmである。

2-3 舗装工

(1) レンガ舗装工

レンガ舗装工歩掛は、次表を標準とする。

表2.4 レンガ舗装工歩掛

(100 m²当り)

名 称	規格・形状	単位	数 量		摘 要
			A (平敷き)	B (小端立て敷き)	
普 通 レ ン ガ	JIS3 種 210×100×60	個	4,338	6,817	
ブ ロ ッ ク 工		人	9.9	17.7	据付手間
普 通 作 業 員		〃	6.6	11.0	同上手伝い, 現場内小運搬

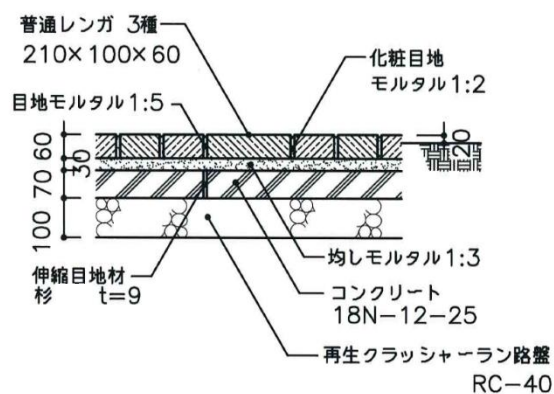
(注) 1. モルタル練等は別途計上する。

2. 舗装材料の現場内小運搬は、運搬距離 20m程度とする。

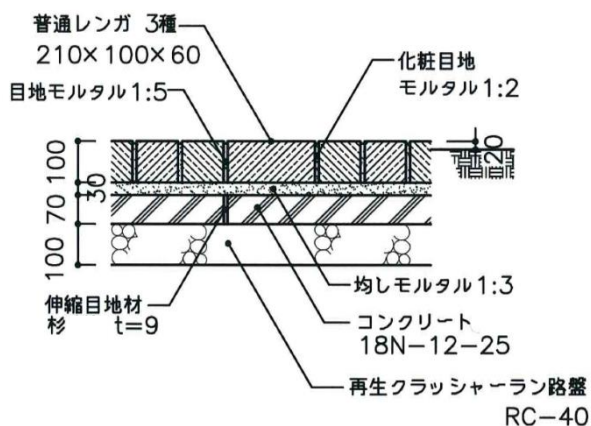
3. モルタルは「第Ⅱ編第4章①コンクリート工」により別途計上し、これにより難しい場合は別途考慮する。

参考図

A 平敷き (RH-HA, 路盤厚 100 の例)



B 小端立て敷き (RH-KA, 路盤厚 100 の例)



2-4 縁石工

(1) レンガ縁石工

レンガ縁石工歩掛は、次表を標準とする。

表2.5 レンガ縁石工歩掛

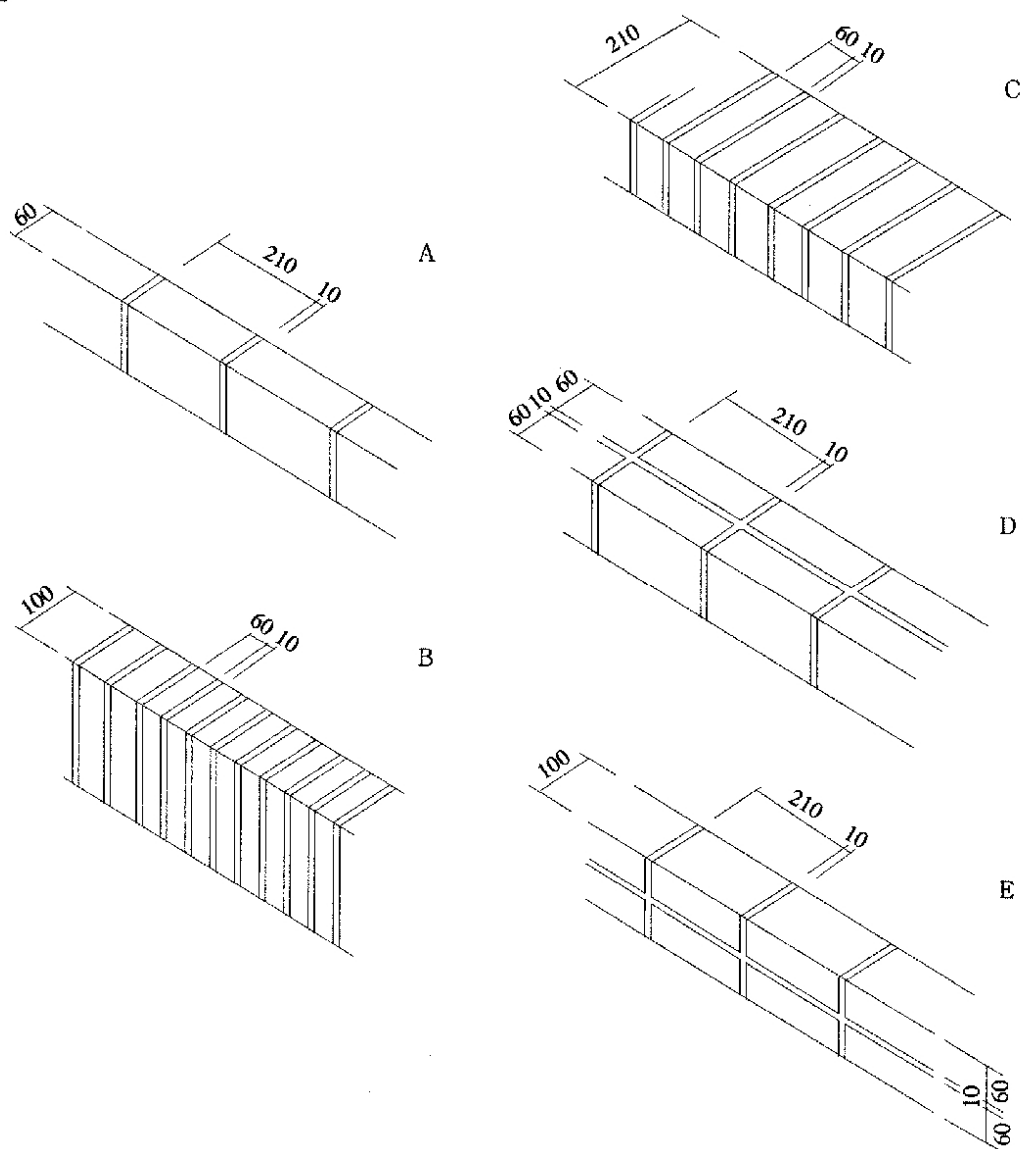
(100m当り)

名 称	規格・形状	単位	数 量					摘 要
			A	B	C	D	E	
普 通 レ ン ガ	JIS3 種 210×100×60	個	477	1500	1500	955	955	ロス 5%含む
目 地 モ ル タ ル	1:3	m ³	0.02	0.3	0.3	0.2	0.2	
ブ ロ ッ ク 工		人	1.8	6.0	6.0	3.8	3.8	据付け
普 通 作 業 員		〃	0.3	1.1	1.1	0.7	0.7	手伝い

(注) 1. 基礎は別途計上する。

2. レンガ等の小運搬は、運搬距離 20m程度とする。

参考図



目地は、化粧目地とし、幅10mm、深さ3～5mmとする。

2-5 排水工

(1) 硬質塩化ビニール管布設 (J S W A S K-1)

硬質塩化ビニール管布設歩掛は、次表を標準とする。

表2.6 硬質塩化ビニール管布設歩掛 (100m当り)

管 径 (呼び径) (mm)	管 長 (m)	労 務 歩 掛		材 料	
		特殊作業員 (人)	普通作業員 (人)	接着剤 (kg)	滑 材 (kg)
100	4.0	2.30	4.30	0.40	0.30
125	4.0	2.50	4.80	0.50	0.40
150	4.0	2.80	5.10	0.80	0.50
200	4.0	3.10	6.30	1.40	0.60
250	4.0	3.30	7.50	2.30	0.90

- (注) 1. 本労務歩掛は、接着受口、ゴム輪受口いずれも同一とする。
 2. 本歩掛は管の接合、据付作業一式及び材料現場内小運搬を含む。
 3. 小運搬距離は、20m程度とする。
 4. 管の切断ロス等による割増率は1%とする。
 5. 接着剤は、接着受口管の場合に計上し、滑材はゴム輪受口管の場合に計上する。
 6. 卵形管の呼び径100mm～250mmの布設歩掛は本歩掛（材料も含む。）と同一とする。

2-6 給水工

(1) 配管工

1) 水道用鋼管布設（人力吊込布設）

水道用鋼管布設（人力吊込布設）歩掛は、次表を標準とする。

表2.7 水道用鋼管布設（人力吊込布設）歩掛（100m当り）

内径	屋 外 配 管	屋内配管（給水・排水・通気）
	配 管 工 （人）	配 管 工 （人）
1/2 インチ （15mm）	6.7	10.7
3/4 （20mm）	7.6	12.0
1 （25mm）	9.3	14.8
1・1/4 （32mm）	11.4	18.1
1・1/2 （40mm）	12.5	19.9
2 （50mm）	15.7	25.0
2・1/2 （65mm）	20.5	32.5
3 （80mm）	23.2	36.8
4 （100mm）	30.3	48.1
5 （125mm）	35.9	56.9
6 （150mm）	43.6	69.2

(注) 1. 本表の屋内工事の歩掛は、高架（高置）水槽等の配管に適用する。

2. 屋外配管

(1) ねじ立て接合、弁取付（制水弁を除く。）、現場内小運搬及び水圧試験を含む。

(2) 床掘り及び埋戻しは、含まない。

3. 屋内配管

(1) ねじ立て接合、支持金物取付、弁取付、現場内小運搬及び水圧試験を含む。

4. 本表の現場内小運搬の距離は、20m程度とする。

5. 材料の割増率は屋外5%、屋内10%とする。

表2.8 継手材料

	屋 外	屋 内
塩化ビニールライニング鋼管	材料費の35%	材料費の90%
水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管	材料費の55%	材料費の110%

2) 水道用硬質塩化ビニール管布設（屋外給水用）

水道用硬質塩化ビニール管布設（屋外給水用）歩掛は、次表を標準とする。

表2.9 水道用硬質塩化ビニール管布設（屋外給水用）歩掛（1m当り）

内径（mm）	配管工（人）
15	0.032
20	0.043
25	0.052
30	0.055
40	0.071
50	0.090
65	0.114
75	0.133

(注) 1. 本表は、接合、現場内小運搬及び水圧試験を含むが、土工工事は含まない。

2. 本表の現場内小運搬の距離は、約20mとする。

3. 材料の割増率は5%とする。弁材料は別途計上する。

表2. 10 継手材料

	屋 外	屋 内
硬 質 塩 化 ビ ニ ー ル 管 継 手	材料費の 25%	材料費の 55%

3) 水栓類取付工

水栓類取付工歩掛は、次表を標準とする。

表2. 11 水栓類取付歩掛表 (1個当り)

名 称	単位	口 径		
		15	20	25
各 種 水 栓	個	1.0		
配 管 工 (各 種 水 栓)	人	0.07	0.08	0.09
散 水 栓 (箱 共)	個	1.0		
配 管 工 (箱 共)	人	0.35	0.35	

(注) 1. 新規散水栓(箱共)を設置する場合は、散水栓(箱共)と配管工(箱共)を適用する。

2. 既存の箱内に水栓を設置する場合は、各種水栓と配管工(各種水栓)を適用する。

3. 箱内に2個以上の水栓を設置する場合は別途考慮すること。

2-7 小型工作物工

(1) ベンチ据付

ベンチ据付歩掛は、次表を標準とする。

表2. 12 ベンチ据付歩掛 (10基当り)

質 量 名 称	20kg 未満		20kg 以上	30kg 未満	30kg 以上	40kg 未満
	特殊作業員	普通作業員	特殊作業員	普通作業員	特殊作業員	普通作業員
ス ツ ー ル	0.10 人	0.40 人	0.15 人	0.60 人	—	—
背なしベンチ	—	—	0.24 人	0.96 人	0.28 人	1.12 人
背付きベンチ	—	—	0.28 人	1.12 人	0.34 人	1.36 人

質 量 名 称	40kg 以上	50kg 未満	50kg 以上		材 質
	特殊作業員	普通作業員	特殊作業員	普通作業員	
ス ツ ー ル	—	—	—	—	磁器製、木製等とする。
背なしベンチ	0.32 人	1.28 人	—	—	木製、FRP製、硬質塩化ビニール製、铸铁製、パイプ製等とする。
背付きベンチ	0.40 人	1.60 人	0.46 人	1.84 人	

(注) 石材、コンクリート製等については別途計上する。

3. 単 価 表

(1) 小型機械土工（トラクター） 1 m²当り単価表

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
ト ラ ク タ ー 運 転	1 t 級	h		1 / V t (10) 単価表 表 2.2
諸 雑 費		式	1	
計				

(2) コンクリート表面はつり，つつき仕上げ 1 m²当り単価表

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
石 工		人		表 2.3
諸 雑 費		式	1	
計				

(3) レンガ舗装工 100 m²当り単価表

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
普 通 レ ン ガ	JIS 3 種 210×100×60	個		表 2.4
ブ ロ ッ ク 工		人		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
諸 雑 費		式	1	
計				

(4) レンガ縁石工 100m当り単価表

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
普 通 レ ン ガ	JIS 3 種 210×100×60	個		表 2.5
目 地 モ ル タ ル	1 : 3	m ³		〃
ブ ロ ッ ク 工		人		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
諸 雑 費		式	1	
計				

(5) 硬質塩化ビニール管布設 100m当り単価表

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
普 通 作 業 員		人		表 2.6
特 殊 作 業 員		〃		〃
硬 質 塩 化 ビ ニ ー ル 管		m		〃
接 着 剤		kg		〃
滑 材		〃		〃
諸 雑 費		式	1	
計				

(6) 水道用鋼管布設 100m当り単価表

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
配 管 工		人		表 2.7
水 道 用 鋼 管		m		必要に応じ継手材料含む 表 2.7, 2.8
諸 雑 費		式	1	
計				

(7) 水道用硬質塩化ビニール管布設 100m当り単価表

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
配 管 工		人		表 2.9
水道用硬質塩化ビニール管		m		必要に応じ継手材料含む 表 2.9, 2.10
諸 雑 費		式	1	
計				

(8) 水栓類取付工 1 個当り単価表

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
各 種 水 栓		個		表 2.11
配 管 工		人		〃
散 水 栓 (箱 共)		個		〃 必要により計上
配 管 工		人		〃 〃
諸 雑 費		式	1	
計				

(9) ベンチ据付 10 基当り単価表

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
ベ ン チ		基	10	
特 殊 作 業 員		人		表 2.12
普 通 作 業 員		〃		〃
諸 雑 費		式	1	
計				

(10) トラクター運転単価表

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
軽 油		ℓ	2.6	
特 殊 作 業 員		人	0.2	
機 械 損 料		h	1	
諸 雑 費		式	1	
計				